都市と防災 I

科目ナンバリング　POL-305
選択　　2単位

関　　英男

1. 授業の概要（ねらい）

災害対応では、不特定多数を迅速かつ確実に動かすための規制・助成といったコントロール手法が決定的に重要になります。そのため、人権侵害や優先順位などが問題になります。この講義では、行政がどう規制し、どう助成し、どう調整したかに焦点を当てます。ここでは災害時の対応を取り上げ、大都市における最近の事例と被害予想、災害対応の歴史と現状を対象とします。

2. 授業の到達目標

防災行政の基礎知識と勘所を身につける。そのために、映像も含めて、さまざまな情報を提供します。

3. 成績評価の方法および基準

特定の問題に絞った最低1200字(そのうち自分の意見が600字以上)の課題提出1回が必須。ゼミの発表のように書くこと。出席は毎回取る。筆記試験は行わない。

4. 教科書・参考文献

教科書
使用しない。
参考文献
『防災白書』のサイトを初め、内閣府防災、総務省消防庁、自治体などの防災のサイト。
新聞社や、過去の震災などのデータベースサイト。

5. 準備学修の内容

行政学、地方自治の知識があれば、より理解しやすくなります。

6. その他履修上の注意事項

防災関連のサイト・記事を、頻繁に見て考えてください。情報量については、相談します。

7. 授業内容

【第1回】　防災と国民保護（有事対応）の違い
【第2回】　首都圏大震災の被害予想
【第3回】　首都圏大水害の被害予想
【第4回】　水害の避難情報
【第5回】　富士山大噴火の被害予想
【第6回】　熊本地震の対応1
【第7回】　熊本地震の対応2
【第8回】　熊本地震の対応3
【第9回】　阪神淡路大震災の対応
【第10回】　東日本大震災の対応1
【第11回】　東日本大震災の対応2
【第12回】　東日本大震災の対応3
【第13回】　東日本大震災の対応4
【第14回】　伊勢湾台風とハリケーン・カトリーナ
【第15回】　アメリカの防災体制